

20th
ANNIVERSARY

我ら歴史の糸を紡がむ

Develop Your New Stage

1995.3 No.95

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会

会長 藤居 忠 弘

編集責任者 小 原 得 雄

印刷所 東京印刷機

2月例会 中小企業直面問題フォーラム

『これからの地域の活性化と地場企業のかかわり』

広報委員会 村 上 宏 行

中小企業直面問題フォーラムを去る2月14日、サンシャイン平安閣にて開催、鳥取県にもゆかりがあり、元国土庁長官官房審議官で(財)家計経済研究所専務理事である吉村彰氏が『これからの地域の活性化と地場企業のかかわり』をテーマに講演した。フォーラムで吉村氏は、まず21世紀までの日本経済はどうなるかについて他県の実例や調査データなどを折込みながら分かりやすく解説した。さらに第1次全国総合開発計画にはじまったこれまでの地域開発の流れを簡単に振り返った上で、5全総のプランの概要を紹介した。そして、これからの地域の活性化についての6つの課題を列挙した上で、本題でもある地場企業のかかわりについて提言し、出席した約150名の親会・青年中央会の両会員は熱心に耳を傾けた。

提言の中で吉村氏は、「山陰一では効果は低い、日本一になるととにかくPR効果が期待できる。計画中のフラワーパークについても積極的かつ大胆な発想の転換と人材の登用により、何か日本一の要素を持たせた展開をすべきである。また、大山山麓の自然の中でスポーツ・音楽・芸術・演劇などに触れる機会をつくるのもよい。都会にはない自然環境にプラス、ソフト面でのそうした県外からの人を呼び入れる工夫をすることが、地場企業の皆さんとしての活性化への取り組みの一つである。」とPRの重要性を訴えた。その根拠として、21世紀までの日本の経済社会の傾向を示した9つのキーファクターの中で、特に超高齢化社



会の到来での自由時間の増大に加えて個人の意識・価値観の多様化、女性の社会進出や高度情報化社会の中での一層の国際化を挙げた。さらに地方の役割を今一度再認識した上で当地の存在をPRすべきであり、それには県外で活躍中の鳥取県出身者、それもマスコミ関係者との人的ネットワークを大いに活用すべきであると語った。

また、吉村氏は先の阪神大震災にも触れ、新しい全国総合開発計画の中では『災害に強い都市づくり』を盛り込む他、日本海国土軸をはじめとする第2・第3の国土軸の構築に着手し、ルートと手段の代替性を兼ね備えた相互補完可能な多重型ネットワークの形成を目指すとした。さらに、これからの地域の活性化についての課題の1つである基本的な目標の一番目に『安全性の確保』を挙げ、災害に強い都市づくりが人を呼ぶ上でも重要な要因であると訴えた。

最後に中海圏開発委員会の岩田慎介会員と観光流通委員会の赤石有平委員長の質疑に答え、シルバー世代はもとよりヤング世代に対しての企画として、日本一の漁港らしく体づくりと銘打って魚を食べるイベントとか全国にも例を見ないカニの大食い大会などの新しい発想について提言があった。また、街づくりについても地道でも民間主導で独自のビジョンを行政機関に訴える位の積極性が必要と語り、予定時間を超過して熱弁を振るわれた吉村氏に対し会場からは惜しめない拍手が送られた。





第17期卒
鷺澤 淳一 氏

— 20周年に寄せて —

今回はOBの中から第17期ご卒業の
鷺澤OBにお願いしました。

'95 1、17 早朝5時46分「阪神大震災」我々世代には、かつて経験したことのない大惨事、我々、OBも含めて現会員の方々にも多かれ少なかれ関係があるとおもいます。今年やっと景気も上むきか？この時期、今後どうなるのか？西日本の台所阪神地区、山陰はもちろん日本経済に大きな影響を及ぼすのかはかりしれません。ひとつの正念場です、ここに青年中央会『英知』『友愛』『団結』を結集して乗りきりましょう。

さて、20周年を迎えおめでとうございます。卒業してまだ間がありませんが、一抹のさびしさが感じられます。在籍10年、当時各種団体もありましたが、青年中央会の内容をきき、当時の会員に推薦者になっていただき入会をさせていただきました。思いおこすに、その年不孝にも父を亡くし精神的、経済的にも苦境にたたされました…折、諸先輩方にどれほど励まされ、アドバイスいただいたおかげで今日の私があるといっても過言ではありません。

流通委員会、税務委員会、等今はなくなった委員会、なつかしい思い出です。米子道の開通にともない流通形態は、

影響は？税務署長を講師に税務勉強会、在籍中、副委員長・委員長のおりには出席率向上のため、各会員1軒、1軒訪問、運営方法、意見をあつめ委員会の反映につとめたこと等活動に充実感をおぼえました。また、卒業最後の年には境港担当副会長として指名され、その年には陳情問題、境港地区増員問題等、数々の難題があったことをおぼえています。特に境港地区では会員増員に当時会員にはより人力をいただき現在では徐々にふえているのを力強く思います。

卒業後、20周年式典ご招待をいただきましたが、やむを得ず欠席したことを非常に残念におもっております。現会員は160人とか、OBも今ではそれを上回る人数になり、当西部ではいや・県内でも一番の団体、『英知』『友愛』『団結』をふまえて、この異業種の集団、会員個々それぞれ切磋琢磨する場があるということ、それにはとにかく出席することが一番、会費を払っただけでは無駄、例会、委員会せつかくの異業種交流の機会、親睦を深めることだとも思います。

ここに、20周年を迎えさらなる発展を期待いたします。

委員会訪問

政治行政委員会

2月6日(月)、政治行政委員会を訪問取材した。

今年度の年間テーマを「FAZ(輸入促進地域)に関しでの勉強会」とし、FAZに我々地域中小企業がどのように関わり、利用できるのか、又、FAZを利用し地域活性化をどのように図るかなどについて勉強している。

今回の委員会は、「中長期ビジョン検討委員会」での課題について、全員の討議の場を作ろうということで、年間テーマと離れて「中央会のあり方」等について討議した。

本音で活発な意見交換がなされ、牛込委員長をはじめ各委員の皆さんの中央会に対する思いが伝わってくる熱気に溢れる委員会であった。

この度の委員会で討議された意見の一部を紹介すると

- ①中央会の活動を少数精鋭化してもよいではないか
- ②中央会の会としての目的をはっきりしておくべきではないか
- ③この際、中央会の入会目的をアンケートなどで会員に確認してはどうか
- ④役員人事の決定が遅くて、新年度の会長の方針、委員長の委員会の運営方針が決定しにくいのではないか
- ⑤ある程度、会員の意見(希望委員会の選択等)を取り入れて欲しい

等々、その他多数の意見がだされた。そして、今後このような議論は続けていく必要ではないかということであった。

最後に、牛込委員長をはじめ各委員の皆さん大変お世話になりました。ありがとうございました。 M. M

カルチャー委員会

2月10日(金)、米子食品会館で行われたカルチャー委員会を訪問した。

桑垣委員長率いる当委員会は、「国際交流を通して地方文化を考える」を年間テーマに取り組んでいる。

毎回、海外からの居住者や海外での生活体験者の話を聞き、又交流を深めながら、地方文化の在り方等について勉強・研究を重ねている。

今回も、講師に中国からの留学生である鳥取大学医学部公衆衛生学教室特別研究員の千羽(ユーユー)氏をお迎えし、「中国文化と日本文化について」フリートークキングをした。

質疑の中で千羽氏は、「日本では障害者の程度に応じた学校(養護学校、聾学校、盲学校等)があるが、中国では本格的な国の政策や援助金もほとんどなく、家庭で見ているのが現状である。」と日本と中国の子供の教育環境の違いを紹介。又、質疑は、衣・食・住と日常の暮らし振りにも及び、日本人と中国人の物の考え方、価値観の違いについてもその一端を知る得ることができ、有意義な委員会であった。

委員会は、終始活発な質疑が行われ、年間テーマにかけた各委員の意気込みが感じられた。最後に、突然の訪問に桑垣委員長をはじめ各委員の皆さんにご協力いただきましたことに、厚くお礼申し上げます。 M. N

中長期ビジョン検討委員会報告

今回で第5回目を数える中長期ビジョン検討委員会が、2月21日午後7時より米子食品会館に於いて、藤居会長、小原副会長、柴谷委員長以下計12名の出席のもと開催され、同委員会による5月例会準備に向けて活発な意見交換が行われた。

今回も代理出席が目立ち、冒頭から委員会によっては未だビジョン委員会の目的、活動内容が正しく伝えられていないといった意見も飛び出すなど、波乱含みのスタートとなったが5月例会の運営方法については、パネルディスカッションの実施を基本柱に、これまでになく具体的に富んだ展開になった。

計画では5月例会に先立ち、4月の各委員会で委員会毎

にテーマを設定した分科会を行い5月例会をその結果の報告会にしようというもの。分科会のテーマについては、来月下旬実施予定のアンケート結果を見て決定される予定だが、基本的には西部青年中央会の組織と活動の在り方一的を絞った内容になる模様。

藤居会長は、中央会の将来展望を話し合うことによって、会員全体の問題意識の共有化を図りたいとし、5月例会を成功させ次年度への重要な橋渡しにしたいと語った。また、同委員会は常にメンバーが入れ替わって開催されて来た為、議事をスムーズに運べないという反省点に立ち、次回以降は基本的に今回出席の顔ぶれで開催することを確認して閉会した。

中海圏開発委員会報告

2月18日(土)、松江俱樂部に於いて、中海圏開発委員会を開催しました。

今回は、山陰中央テレビ放送社長の田部長右衛門氏をお招きし、中海圏の現状や今後の有り方等をお話し頂きました。

まず講話の内容としては、山陰両県には11市あるが、いずれも「帯に短かし、襷に長し」で、単独で核になり得る都市がない。全国で20万都市がないのも山陰両県だけである。それだけに中海圏が行政の枠を越え、ひとつの経済地域として官民一体となってまとまらなければ他の地域に遅れをとってしまう。現在は民間レベルでの人的交流は行われているが、行政の枠が障害となりまとまりきれていないのが現状である。

今後その枠を乗り越えていく為には、中海圏のそれぞれ

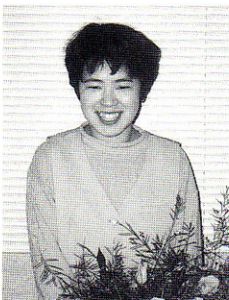
の地域が互いの良さを知り、親睦を深めて相互交流のエネルギーを高めて行政を動かしていく必要がある。

又今後中海圏を発展させていく為には、中海圏全体を20分以内で結ぶ道路網の早期整備が最重要課題である、と力説されました。

今回の田部氏の講話の中で、人の交流とかネットワーク等々我々の委員会の今年度のテーマと共通する所が多く、あらためてネットワークづくりの大切さを認識させられた有意義で心に残る委員会でした。又、田部社長様には忙しい中をお越しいただき、当委員会一同たいへん感謝しております。



さわやかさん こんにちは



(有)大成商事 橋井会員推薦
大変良く笑う入社2年目のアイドル

木村 栄子 さん

昭和44年7月19日生 25才 O型

趣味：強いて上げるならショッピング

好きなタイプ：優しい人

心のあったかい人

嫌いなタイプ：笑いがいやらしい人

好きな食べ物：からあげ、イチゴショート

お酒は：あまり飲めない。

結婚は：いい人が現われたら……。

橋井会員へ一言：仕事には厳しく時には優しく、甘い物とお酒には橋井課長がよく似合う。とっても信頼できる上司です。

橋井会員から木村さんへ一言：のんびりやのA子さんたまには一緒に朝帰り！

妻の本音

赤石 和子

私の実家の都合で仕事を変えてくれて早や15年目を向えます。いろいろな事がありましたが、前向きに一つ一つ丁寧に対応していく姿は、いつも尊敬しております。

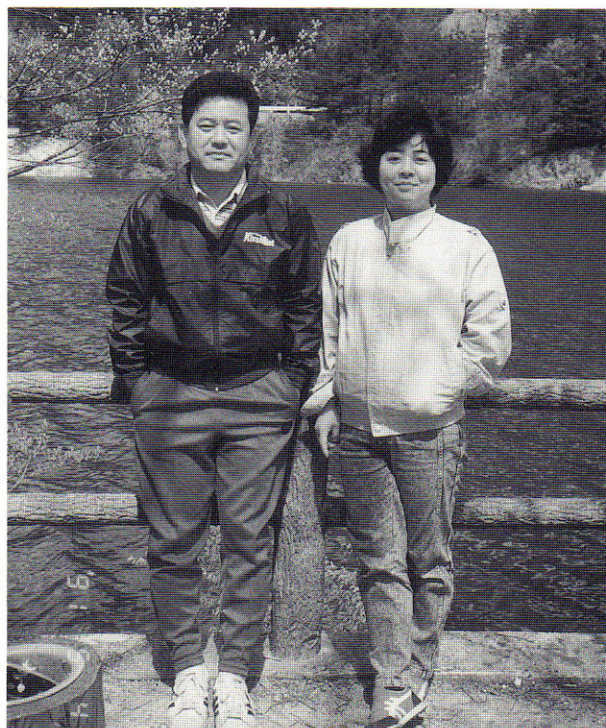
仕事はもちろん一生懸命、友だちも多く遊びも一生懸命、趣味も多く楽しい老後がやってくると思います。(特に人の世話が好きです。)

家ではカンビール(350ml)を一本飲んでうたた寝、休日でも家にいることはまずありません。

そして私くらい、夫に名前を呼ばれる妻も少ないと思います。仕事がいっしょなので「和子、和子」と日に何十回この身が痩せないのが不思議なくらい?(夜もちろん)

今、このきびしい時を迎え、「あんな時もあったね」と笑って話ができるような夫婦になりたいです。

体に気をつけて頑張りましょう!



聞いてごしない Part 8

「ハゲる」

最近、例会で気づいたことだが、会場の後ろの方に座っていると、頭髪が薄くなってきた会員が目立つ。もともと薄かった人は、さらに薄くなってしまっている。年齢を重ねたのだから当然といえば当然だが、一概にそうともいえないらしい。頭の禿げ方は、血液型と密接な関係にあるというのだ。

まず、O型であるが、いったん禿げ始めると徹底的に禿げる。A型は不徹底に禿げ、産毛や裾野部分に毛が残る。B型は数本残る禿げ様となる。AB型は徹底的には禿げない。以上が血液型による判定だ。ということは、逆に頭髪状況から血液型をある程度判断できるということである。

しかし、何ら恐れることはない。「禿げに胃ガンなし」という説があるのだ。これは、300人以上の胃ガン患者を調査した結果、判ったことだという。又、頭が禿げるという現象は、ホルモンのアンバランスによって起るらしいが、胃ガンについても同じことが考えられるという。というのも胃ガン患者、禿げ頭の人、健康人についてホルモン測定を行った結果、胃ガン患者の大部分に女性ホルモンが多いのに対し、禿げ頭の人には男性ホルモンが多い傾向が突き止められたというのだ。そういえば、昔から自分の身の回りの元気なお年寄りに、禿げ頭の人が多いように思える。とすると、禿げることが長寿の秘訣なのかもしれない。(参考までに、禿げ頭の原因は、肉の食べ過ぎという説もある・・・)

確認作業のため、中央会名簿をめくってみる。〇〇委員会のあの人、エート、どこかいな、あった、あった、あっ!やっぱO型か!

(文・てなぐさみ)

3月例会案内	日時	3月15日(水) 18:30~
	場所	ホテルわこう
	講師	世界的トライアスリート 小原工氏
	演題	「皆生から世界へ」
	担当	労務委員会

※出席の有無を3月10日までに返信ハガキにてご回示下さい。

3月役員会報告 3月定例役員会が3月1日(水)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 3・4月例会開催の件
- (2) 収支見込みの件
- (3) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。



編集後記

大震災に始まり、県内では大雪と、改めて自然の力を見せつけられた。自然との共存を再認識するとともに人と人が助け合うことの大切さを痛感する。

発想の転換が必要な今、我青年中央会もその在り方を真剣に論議している。会員諸兄の積極的な取組みを再度確認したい。